

飲酒運転

それは、絶対にしてはいけないことだと誰もが知っている
それなのに、なぜ、飲酒運転が後を絶たないのか――

警察庁によると、全国で平成17年中に飲酒運転で検挙された数は14万873人
県内では1633人が検挙され、うち77人が事故を起こし

自分の人生を棒に振り、中には他人の人生までも奪っている

11月4日、村交通安全村民大会が行われた

その中の講演で、大切なわが子を飲酒運転による事故で奪われたという

二戸市の大崎昌幸さん(46歳)、礼子さん(43歳)夫妻の悲痛な声を聞いた

名前は、大崎涼香ちゃん。小学1年生になったばかりの幼い命だった

「わたしたちは、親より絶対に早く死んではいけない、娘の命を奪われました」

――ご両親のこの言葉が、今でも耳から離れない――

普代村は今年9月末現在で、飲酒運転検挙率が県内ワースト2位

今、村民一人ひとりが「飲酒運転は犯罪である」と意識を変えなければいけない
わが子を一瞬にして奪われた遺族の声から、飲酒運転の実態に迫る